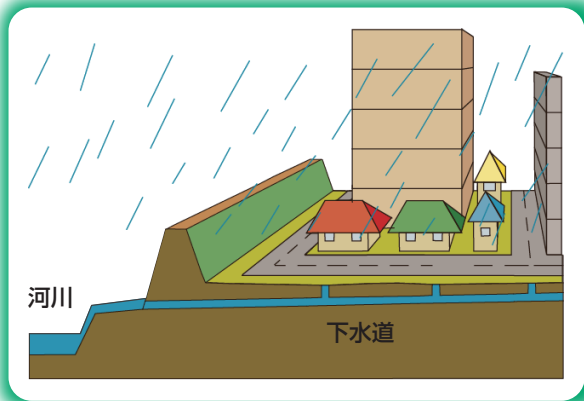


浸水ひなん地図の適用範囲

浸水ひなん地図の適用範囲は、河川の堤防から河川の水があふれだしたり、堤防が決壊するなどして、河川の水が流れ出す前までの範囲(内水はん濫)となります。

河川の堤防の決壊や河川から溢れた水による外水はん濫の恐れがある場合は、「洪水ひなん地図(洪水ハザードマップ)とは」(P.14)を参考にして下さい。

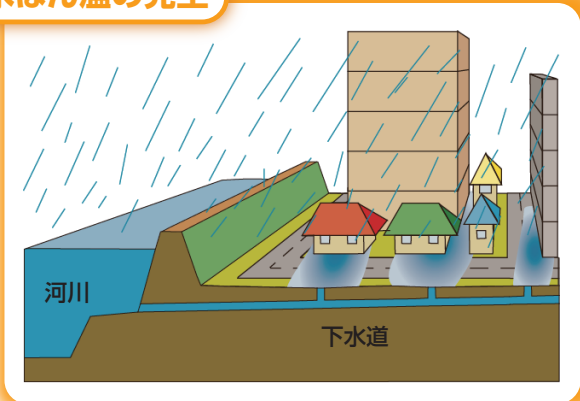


降った雨は下水道などを通して河川に排水されています。



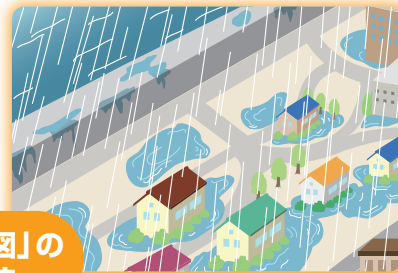
- 大雨が降ると下水道などで全ての雨水を排水できなくなり、
- 内水による浸水が起こり始めます。

内水はん濫の発生



内水はん濫とは

内水はん濫とは、雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるとときや、河川等の排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



「浸水ひなん地図」の適用範囲です

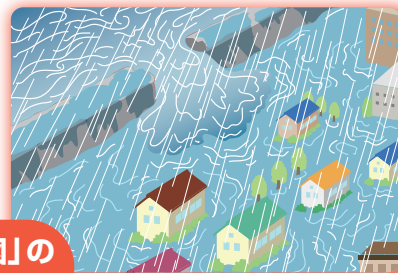
- もっと雨が激しくなると、
- 外水はん濫(洪水)の危険性が高まります。

外水はん濫の発生



外水はん濫(洪水)とは

外水はん濫(洪水)とは、大雨によって河川等の水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。外水はん濫(洪水)は家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こすことがあります。



「洪水ひなん地図」の適用範囲です